



2025年6月期業績予想と今後の取組み

株式会社Geolocation Technology
証券コード 4018

もっと遠くに、もっと近くに。
Geolocation Technology



2025年6月期業績予想と今後の取組み



2025年6月期

**サブスク型サービス
「SURFPOINT™」と「どこどこJP」を中心に
更なるストック収入の強化に向けた基盤強化**

売上高は微増予想であるが、四半期毎の収益の安定化を図っていく
 更なる成長へ向けた基盤強化を行う

単位：百万円

	2024年6月期 通期実績	2025年6月期 通期予想	増減率 (%)
売上高	716	770	+7.4
営業利益	76	85	+11.5
経常利益	77	85	+9.8
当期純利益	37	58	+53.9
配当	10円00銭	10円00銭	-

SURFPPOINT™

IPv4

210.251.250.30

IPv6

2001:298:4122::1

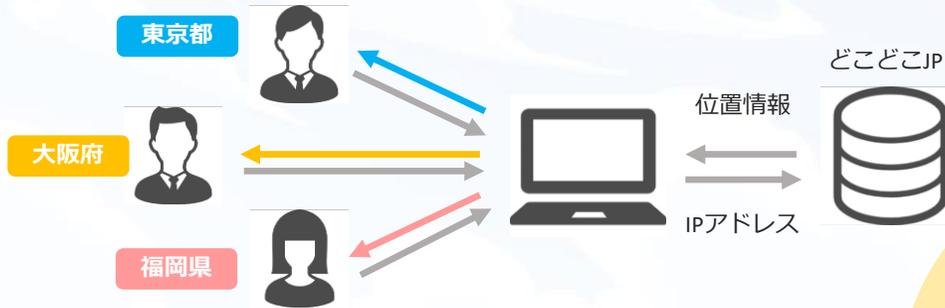


「SURFPPOINT™」は、IPアドレスと位置情報や企業情報など様々な情報を紐づけたIP Geolocation&IP Intelligenceデータベースです。

マーケティングからセキュリティまで幅広い活用範囲

ジオターゲティング

IPアドレスから判定された位置情報を活用し
位置情報に則したネット広告を配信



コンプライアンス (DRM)

オンライン配信される映像や音楽を
視聴者の位置情報を特定しコンテンツの配信権利を守る



IP Geolocation

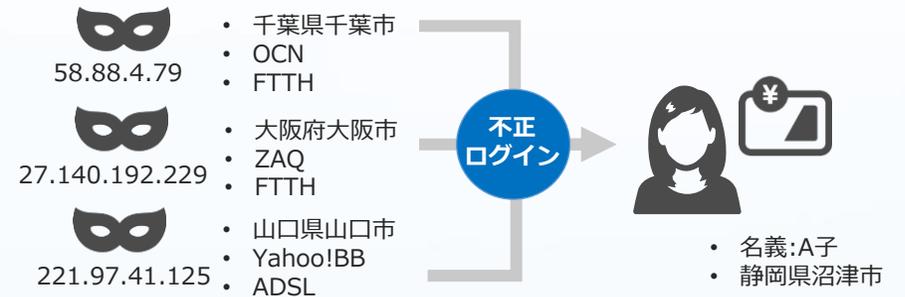
BtoBマーケティング

サイト訪問組織の分析と
ファーストパーティデータの強化



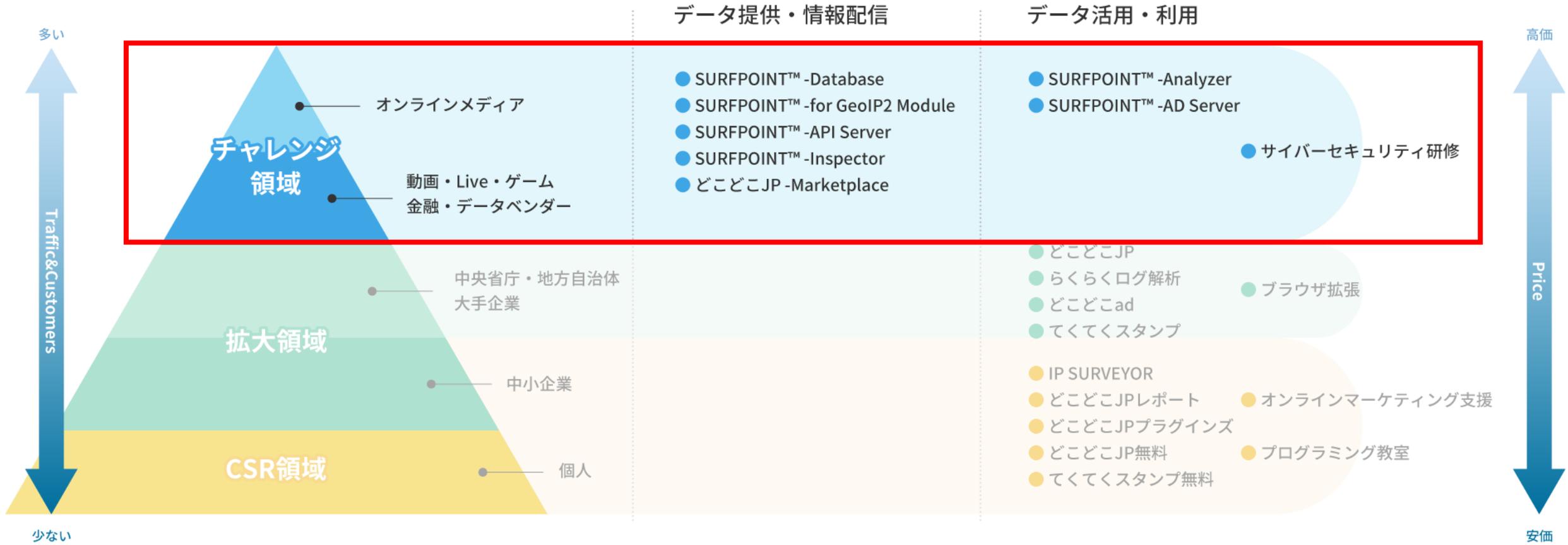
不正検知

ネット上の不正やなりすましなどの
詐欺行為を検出



Cookie規制の影響を受ける業種向けに、「SURFPOINT™」のラインアップを強化

Geolocation Technology Solution Map



オンラインメディアからゲーム業界・金融・捜査機関へと 幅広くより高度にサービスを展開

開発予定

SURFPOINT™

Analyzer

Cookieレス対応の大型メディア向けアクセスログ分析サービス。各データ項目の分析、クロスデバイス分析、AI分析を実現。

開発予定

SURFPOINT™

AD Server

アクセスユーザーの「組織」「気象」「回線種別」「エリア」「オーディエンス属性」を判定したターゲティングを実現するディスプレイ広告配信サービス環境を提供。

開発予定

SURFPOINT™

API Server

お客様が保有し、運用しているオンプレミスのシステム「SURFPOINT™」のデータを、JavaScriptやREST APIで利用可能に。

提供済

SURFPOINT™

Database

IP Geolocationサービス基盤。全てのIPv4 IPv6アドレスを網羅。位置情報・企業情報・脅威情報などを格納。

提供済

SURFPOINT™

for GeoIP2 Module

「SURFPOINT™」を「MaxMind GeoIP® Databases」で使用可能に。mmdb形式のGeoIP2モジュール互換データを提供。

■ Cookie規制の背景

Web上でマーケティング活動に、メリットがあるCookie
しかし、プライバシーの観点で問題視され、規制される動きが強まる

- **1st party Cookie**… サイトの運営者が発行するCookie
- **3rd party Cookie**… 訪問したサイト以外が発行するCookie

■ Cookie規制の流れ



■ Cookie規制の影響

Web広告の費用対効果の低下

- **ターゲティング広告の精度低下**
- **リターゲティング広告ができなくなる**
- **広告の効果測定精度の低下**

多くの利用者を抱える、大手の大規模なメディア・ゲーム・動画配信・販売サイトなどが、まず最初に大きな影響を受けることが予想される

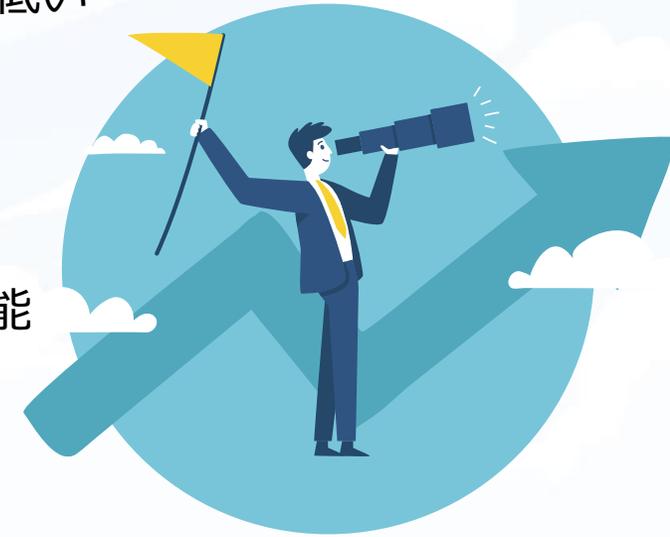
■ ポストCookieの方針

- 3rd party Cookieによって収集していた、3rd partyデータの用途が大きく制限
- 1st party Cookieで、直接収集した情報である1st partyデータが重要
1st partyデータは、信頼性が高い、費用対効果が高い、プライバシーリスクが低い
メリットがある。

■ IP Geolocationによる、ポストCookieの有効な対策

1st partyデータとして、SURFPOINT™のIPアドレス属性が有効!!

- 利用者や顧客のIPアドレスから、Cookie無依存のターゲティングメニューが可能
- 業種や企業規模などの情報から、ターゲティング在庫を拡充
- 組織情報に関連した情報を充実させ、ターゲティングメニューの幅を拡大

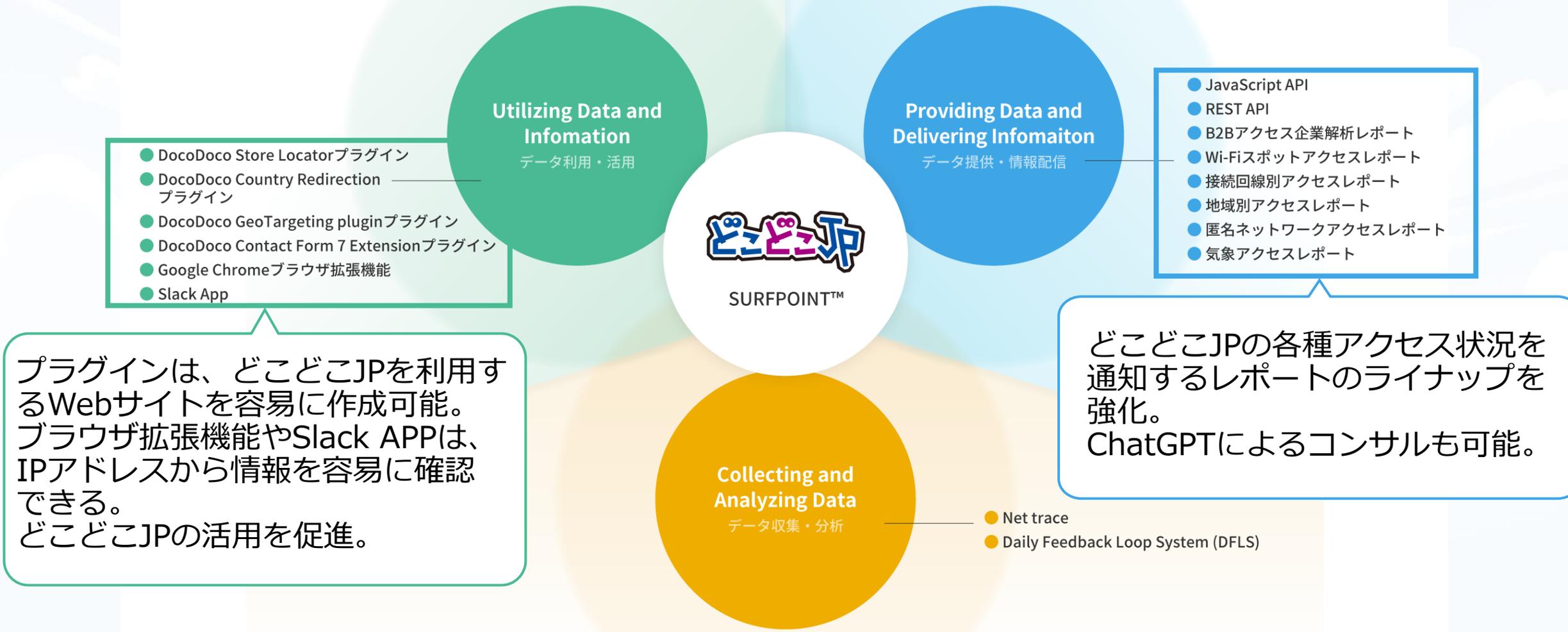


ポストCookieに向けて、IP Geolocation技術をより高度に、より使いやすく

施策③ 「どこどこJP」 - 機能強化（上期）

第1 四半期	どこどこJP	気象アクセスレポート機能をリリース
第1 四半期	どこどこJP	Microsoft Excel連携ツールをリリース
第1 四半期	どこどこJP	Geo Targeting pluginをアップグレードし、リリース
第2 四半期	SURFPOINT™ どこどこJP	splunk cloude対応をリリース
第2 四半期	どこどこJP	JavaScript APIのIPv6対応版をリリース
第2 四半期	SURFPOINT™	大量データ分析解析サービス「SURFPOINT-Analyzer」をリリース
第2 四半期	SURFPOINT™	モバイルデータ強化のお知らせ
第2 四半期	どこどこJP	レポート機能強化（UI、期間選択、IPv6対応など）をリリース

Geolocation Technology Core Technology



Geolocation Technologyのサービス提供領域に隣接し、IP Geolocationだけでは解決できない課題をパートナー企業が提供するサービスを積極的に提案することで、より一層のIP Geolocationの活用を推進し、顧客の成果の最大化へつなげます。



**当社パートナー企業の知見とサービスを活用し、お客様の成果の最大化をご支援します。
新たなチャレンジとしてお客様とともに成長して参ります。**

アクセス企業解析だけでなく、営業・マーケティング施策を支援する 「セールスマーケティングDX支援メニュー」を提供

どこどこJP顧客の課題

当社のどこどこJPやMAの導入により
どういった企業がアクセスしているか
は把握できるものの、次にどういった
施策で、見込み客にアプローチするか
サービスが用意されていなかった。

営業活動やマーケティング活動に
対する支援不足

どこどこJP機能の充実
各種レポート機能など

どこどこJP顧客の
リテンション効果

サービスの
アップデートによる対応
「セールス・マーケティング
DX支援メニュー」を作成



当社のパートナー企業と連携し、商談獲得施策・CV獲得施策・流入獲得施策の各支援メニューを用意
既存顧客だけでなく、新規顧客に対しても広くアピールし、顧客満足向上を図る。

自社メディアやITメディア、各種SNSを活用したプロモーション施策を引き続き実施



■ GIZMODO 「「IPアドレス」と「位置情報」を繋ぐ、たった一社の存在を知っているか」
<https://www.gizmodo.jp/2024/03/ip-geolocation.html>



■ IR動画メディア「IRTV」
<https://www.geolocation.co.jp/ir/library/#library01>
※リンクは当社ホームページへ掲載しているIR動画です。

自社メディアやITメディア、各種SNSを活用したプロモーション施策を引き続き実施



■ ジオロケ公式
TikTokアカウント
@geo_it_girl
https://www.tiktok.com/@geo_it_girl



■ どこどこJPナレッジセンター
どこどこJPに関するQ&Aや技術に関する記事を掲載
<https://knowledge.docodoco.jp/>





2025年6月期業績予想と今後の取組み

株式会社Geolocation Technology
証券コード 4018